

医療費適正化推進委員会 こども部会の概要

第1回

日時：平成25年7月11日（木） 13:30～15:30

協議事項(1) こども部会運営要領及び今後のスケジュールについて

部会長 高杉 尚志を選出 10月末までに 3回開催

協議事項(2) 小児医療費の現状について

特に小学生の伸びが顕著

風邪やインフルエンザの流行時、花粉症発症時の医療費が高い

かけこみ受診が見られる（小学校6年生3月診療分）

歯科については年々増加

県内外の他市と比較すると、一人当たり3万円を超えると高い

総社市が設定している無償化対象年齢は、必ずしも低いとはいえない

協議事項(3) 目標数値と確認時期の設定について

目標数値・・・平成24年度決算額（2億5775万8750円）

確認の時期・・・11月中間評価 3月最終評価

こどもの健康に関する指数・・・こども部会で検討

協議事項(4) 目標値達成に向けての取組について

アクションプラン

ステージ1～無償化を維持，現行制度の枠内での対策～

ステージ2～無償化を維持，運用のあり方を見直し～

ステージ3～無償化自体の見直し

ジェネリック医薬品への利用促進について賛否両論の意見

→ 削減効果試算第2回部会へ提出

所得制限導入について反対意見

→ 削減効果試算第2回部会へ提出

難病や慢性疾患を持つ子どもにとってこの制度は必要

そもそも医療費の無料化が望ましいかどうか議論の余地あり

協議事項(5) アンケート調査について

子ども・子育て新制度に関するアンケート調査にあわせて「小児医療費公費負担制度」についても調査（無作為抽出就学前2000世帯）

小学生については 市内5小学校の300名に学校を通して配布回収

子どものいない世帯については、民生委員に回答依頼

第2回

日時：平成 25 年 8 月 22 日（木） 13：30～15：30

協議事項(1) 第 1 回部会の振り返り**協議事項(2) 第 1 回部会後の取組**

平成 25 年度の医療費の推移は、8 月支払（6 月診療分）までの累計が平成 24 年度と比較して約 1.6% 下回っている。

適正受診広報については、小学校・幼稚園・保育所あて広報チラシの配布、ポスター掲示依頼、公共施設・つどいの広場・ファミリーサポートセンターにポスター掲示依頼

日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の活用の呼びかけ

協議事項(3) 目標数値の設定

委員からこどもの健康に関する目標数値の発表

→ 意見をもとに事務局で案をまとめて ヒアリング実施

協議事項(4) 目標数値達成に向けて

抑制効果試算

（国保レセプトによる試算）

コンビニ受診抑制による効果	1,852,857
はしご受診抑制による効果(最小)	3,240,000
はしご受診抑制による効果(最大)	8,794,286
ジェネリック医薬品切替による抑制効果	300,000
所得制限導入による抑制効果	4,687,685
日本スポーツ振興センター災害共済給付制度活用による抑制効果	1,928,445
抑制効果合計(最小)	12,008,987
抑制効果合計(最大)	17,563,273

* コンビニ受診は、夜間・休日等時間外診療のうち、特に夜間・休日に緊急受診が必要ないと考えられるもの、はしご受診は、同じ病気で概ね 1 週間以内に複数の医療機関を受診するもの

国保年齢階層別疾病分類統計集計から、小児は、呼吸器系疾患、歯科・歯周病、アレルギー疾患などが多く、生活習慣を見直し、免疫力を高めることで疾病予防がある程度できるものである。

委員から目標達成のための取組の発表

→ 意見をもとに事務局で案にまとめて ヒアリング実施

協議事項(5) 未達成時の制度見直しについて

アクションプランの修正